

2016年6月14日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

## ソーラーフロンティア、新潟県佐渡島で東大などが実施する 「営農型発電」実証に CIS 薄膜太陽電池を提供

日照量が少ない佐渡島最北端で農業と太陽光発電が両立可能か検証へ



新潟県佐渡島での「営農型発電」実証で採用された CIS 薄膜太陽電池パネル

**【東京 - 2016年6月14日】** -ソーラーフロンティア株式会社（社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2以下：ソーラーフロンティア）は、新潟県佐渡島での「営農型発電」実証にCIS 薄膜太陽電池パネルを提供しましたのでお知らせします。当案件は、東京大学IR3S（国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構）が進める再生可能エネルギーと地域の自然資本の複合利用による地域活性化・低炭素化を目指した社会実装プロジェクトの一環です。この取組みを通して、人口減少・高齢化が進む佐渡島で、太陽光発電が農業にもたらす経済効果の検証を目指しています。

耕作地に太陽光パネルを設置する「営農型発電」とは、作物の栽培と太陽光発電を同時に行ない農地の最大活用を図る手法です。営農しながら売電収入をもたらすビジネスモデルとして、全国で徐々に広がりを見せています。

今回のプロジェクトで設置されたのは、10kW規模の太陽光発電システムで、薄型・軽量の特徴を持つソーラーフロンティアの「Solacis neo（ソラシス・ネオ）」が採用されました。当社のCIS薄膜太陽電池パネルは、佐渡島のように年間の日照量が比較的少ない地域でも、他のソーラーパネルと比べて発電量が高いのが特長です。これまでも同じ新潟県の雪国型メガソーラー（新潟市）等において、高いパフォーマンスが認められてきました。

地上での農作業を円滑に行うため、ソーラーパネルは高さ2mの架台に13.5°の角度を取りながら、南向きに設置されました。この結果、年間約11,000kWhの発電量が見込まれています。この実証を通じて、比較的厳しい営農条件下にある佐渡島最北端・鷲崎地区での遮光率と農作物収量に関するデータを収集し、佐渡島内および国内外の日照量の少ない地域に営農型発電を普及させるうえで有用活用できます。このたびブロッコリーが作付けられ、実証がスタートしました。今後は時期に合わせて、様々な野菜が栽培される予定です。

今回の営農型発電実証は、土地を所有する一般社団法人「鷲崎から始める佐渡を育てる会」の協力により実現したもので、同団体は主に農作物および太陽光発電システムの管理・運用を行います。同団体は、鷲崎地区の地場産物をはじめ、地域資源の付加価値を高める研究・調査・活用方法開発に加えて、自然エネルギーの有効活用を目指しています。会長である本間太郎氏は、希少鳥であるトキの保護にも通じる完全有機栽培農業を実施しており、2015年度すし米コンテスト・国際大会にて「すし米特別賞」を受賞したブランド米「海のみ」の生産者でもあります。また佐渡市は、再生可能エネルギー活用による経済活性化に積極的に取り組んでおり、ソーラーフロンティアも廃校を活用した酒蔵（学校蔵）プロジェクトにCIS薄膜太陽電池パネルを提供しました（詳細は、[酒蔵プロジェクトに関するプレスリリース](#)をご覧ください）。

今回の取り組みは、実効性の高い営農型発電モデルを確立することで、持続可能な農業の実現に向けた経営基盤の提供を目指すものです。ソーラーフロンティアは今後とも、産学官の協働を大切にしながら、環境負荷の低いCIS薄膜太陽電池パネルを活用した「分散型発電モデル」の普及に邁進してまいります。

以上

#### 【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は、昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社で、世界最大のCIS薄膜太陽電池のソリューション企業です。当社が生産・販売するCIS薄膜太陽電池は、実際の設置環境における経済性および環境特性の高さが特徴で、これまでに住宅用・産業用の両面において革新的かつプロフェッショナルなソリューションをご提供してきました。ソーラーフロンティアは、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にお届けします。企業情報や最新ニュースの詳細は、当社公式の[ホームページ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)をご覧ください。

#### 【東京大学 IR3S について】

[東京大学 IR3S](#)（国際高等研究所サステナビリティ学連携研究機構）は、地球・社会・人間システムの統合による持続型社会の構築を目指して、2005年に東京大学内に設立されました。ソーラーフロンティア株式会社の親会社である昭和シェル石油株式会社は、持続可能な社会システムの構築に向けIR3Sと共に、エネルギーの持続可能性の追求に取り組んでいます。IR3Sは、その具体的な活動として、新潟県佐渡市において、再生可能エネルギーを含めた自然資本を徹底的に活用しつつ、省エネルギーを促進することで、地域エネルギー自立化を実現するための社会実装工学的な研究に取り組んでいます。

#### 報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部  
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792